

前期の反省を踏まえ、後半スタート

～11月21日土曜活用活動報告～

11月21日（土）の土曜活用として特別講座を開講いたしました。今月から2月にかけて残り3回、大学や企業から講師の方を招き、講座数を増やして学びの場を広げていきたいと考えています。21日（土）は株式会社総合教育研究所 石橋正利様、有限会社プロス 土田衛様、新潟医療福祉大学 郷貴博様、新潟青陵大学 久保田美雪様、土永典明様、丸山公男様、国際メディカル専門学校 小林克明様、内藤綾子様、大槻健吾様、泉綾様、南商工振興会 菅原正憲様、鳥屋野潟漁業協力組合 増井勝弘様 大野彦栄様、元新潟市都市政策課 松田暢夫様、山潟中学校地域教育コーディネーター 後藤素子様、とやの物語 嶋井幸彦様の16名の方々にお越しいただき、参加生徒は144名（1年生54名、2年生52名、3年生30名、4年生5名、5年生2名、6年生1名）でした。

また、先生方にはお忙しい中、活動へのご理解と、生徒へのお声掛け等ご協力いただきました。誠にありがとうございました。

次回は12月19日（土）に土曜活用にて特別講座を開講いたします。ご迷惑をお掛けいたしますが、今後ともよろしくお願いいたします。

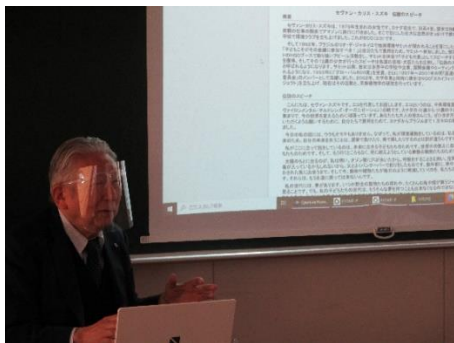
【講座名】 子供でも世界に影響を与えられるグローバル人材のモデルとは！

【講師】 株式会社総合教育研究所 石橋 正利 様

【受講生徒数】 3人

【講座の概要】

1992年、ブラジルで環境サミットが開かれた時の12歳の少女を例に、ビデオを交えながらグローバル人材についてお話しいただきました。子どもだとしても誰もが世界に大きな影響を与えることができる可能性をもっていると教えていただきました。



疑問に思ったことをたくさん質問してより学びを深めました。

【生徒の感想】

- ・私たちが世界に影響を与えることができるのかどうか具体的に考えたことがなかったが、考えるきっかけや自分のこれからの視野を広げることができた。仕事のことについて話している母親にも是非聞いて欲しいと思った。
- ・日本をよくしたいと思ったときに、大きな問題を小さな問題に分けて解決していくと良いことを学んだ。今後どのように様々な問題を解決していくのか具体的に知ることができてとても良かった。

【講座名】自分に合う仕事って何？『自分に合う職業のを見つけ方と、今すべきこと』

【講師】 有権会社プロス 土田 衛 様

【受講生徒数】 42人

【講座の概要】

自分に合った職のを見つけ方、時間の使い方、なぜ今勉強をするのかなど、大きくて難しい疑問の答えを自身の経験からお話していただきました。考えてもなかなか答えの出せない問題を、1つの考え方やとらえ方で解決ができると楽しい対話の中で学ぶことができました。



まずは自分を変えることが大切であると学びました。



夢中で話を聞く生徒

【生徒の感想】

- ・私は「好きなこと、得意なこと」を聞かれると答えられなくて、自分には何もないのかもしれないと思っていたけど、今回のお話でまずは自分から探していくことが大切だと知りました。自分を見つめ直す良い機会となった。
- ・昨年度も先生の講座を受けたが、また違った発見を今回することができて面白かった。

【講座名】「3D スキャン！コンピュータ制御！最先端テクノロジーによる義肢装具の世界」

【講師】 新潟医療福祉大学 郷 貴博 先生

【受講生徒数】 10 人

【講座の概要】

身近で触れる機会の少ない義肢装具について、実演を交えながら実際に体験をさせていただきました。また、3D スキャンを用いて義足をつくるハイテクノロジー化について新しい世界を教えてくださいました。



義肢装具士の仕事について初めて知ることがたくさんでした。



義肢装具の本当の目的を学びました。

【生徒の感想】

- ・今回の講座で、普段は触れることのできないものを、体験することができて楽しかった。義肢を渡した後は、生活でのサポートが必要であることを知り、これからのみんなの生活が楽になるといいなと思った。
- ・講義を受ける前は、義肢は見た目を補うための物で、機能性はないと思っていたが、使う人によって機能性を重視してつくられていることを知った。また、義肢装具士とは何なのか知らなかったのでもとても興味深い内容で時間があっという間だった。

【講座名】安全・安心・安楽なケアとは

【講師】新潟青陵大学 久保田 美雪 先生

【受講生徒数】3人

【講座の概要】

母親側と医療者側の両方の視点から「出産」に関して安全・安心・安楽なケアについてお話していただきました。助産師という立場だけでなく、母親やその家族がどのように関わればいいのかを学ぶことができました。



「出産」のメカニズムについて丁寧に教えていただきました。



資料を読みながら自分で考えたことをたくさんメモしました。

【生徒の感想】

- ・コロナ禍で出産の立ち会いができない分、助産師のケアは大切だと思った。これから立ち会いというものがなくなってしまう可能性もあるので、新しい助産師の在り方をもっと学んでいこうと思ったし、とても楽しくてやりがいのある助産師という仕事に興味をもった。
- ・助産師と母親の両方の視点から「出産」を考えることの大切さや難しさなど、出産をするうえでの大事なことをたくさん知ることができてとても面白かった。

【講座名】『知的障がい者の父』糸賀一雄の生涯

【講師】 新潟青陵大学 土永 典明 先生

【受講生徒数】 6人

【講座の概要】

糸賀一雄さんの「この子らを世の光に」というフレーズが示す福祉実践を振り返りながら、障がいに対してどのように向き合うべきかを学びました。普段あまり聞くことのない「障がい者福祉」について一緒に考える機会をいただきました。



福祉教育の基本からしっかりと学習していききました。



「障がい」に対するとらえ方の違いみんなを共有しました。

【生徒の感想】

- ・障がいがある、ないに関係なく、平等で自由に生きられ社会を目指さなければいけないし、世界から差別をなくすことは難しいから、身の回りから差別をなくしていけばいいなと思った。
- ・障がいをもつ人ともたない人の間が大きい世の中で、この間を少しずつ小さくしていきたいと思った。障がいは「個性」であると多くの人が認識していけたらもっといい世の中になると思った。

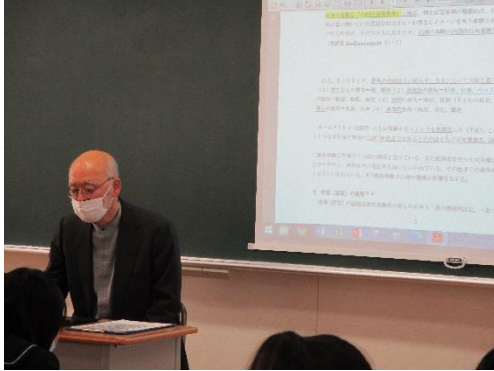
【講座名】対象喪失と悲哀の仕事

【講師】新潟青陵大学 丸山 公男 先生

【受講生徒数】4人

【講座の概要】

人生にさまざまな別れがあることを踏まえて、対象喪失をテーマにお話していただきました。対象喪失によって苦しむ人と、どのように関われば良いのかについて教えていただき、普段はあまり触れることのない貴重な時間を過ごすことができました。



ペットに焦点をしぼり、それぞれが経験を踏まえながら改めて別れについて考え直しました。

【生徒の感想】

- ・これから生きていく中で、自分が感じるもの、サポートするかもしれないもの、人に影響を与えるかもしれないものについて深く考えることができた。学んだことを、人生を通して活かしていきたいと思った。とても貴重な時間を過ごせた。
- ・悲しみや怒りができることは仕方のないことであり、実際に多くの人が大切な人やペットとの別れを経験して乗り越えている。その怒りや悲しみを受け入れてくれる人との関係を大切にしていきたいと思った。

【講座名】 人生 100 年時代を見据えた医療の仕事とやりがい

【講師】 国際メディカル専門学校 小林克明先生、内藤綾子先生、大槻健吾先生、泉綾先生

【受講生徒数】 11 人

【講座の概要】

臨床工学技士、看護師、鍼灸師、医療事務を中心に 4 名の講師の方々に、医療専門職の医療現場での業務・役割や、業界の魅力・仕事のやりがいについてお話していただきました。実際に体を動かしながら学ぶこともでき、チーム医療について学ぶことができました。



実際に体を動かしながら体験型学習を行いました。



4 つの医療現場から「チーム医療」について学びました。

【生徒の感想】

- ・ 講座をうけて薬の販売者という役職に興味をもった。薬剤師にあこがれていたが、薬剤師とは違った魅力を感じた。新しい発見が多くあってとてもためになる講座だった。
- ・ 自分の知らなかった仕事を知ることができて、将来やりたいと思えるものを見つけることができた。医療の仕事は AI の方がいいと言われるが、人にしかできないこともたくさんあるので頑張っていきたい。

【講座名】新潟駅南、鳥屋野潟の変化

【講師】 南商工振興会 菅原 正憲 様

【受講生徒数】 9人

【講座の概要】

都市との共存が求められている鳥屋野潟に対して、いま私たちが都市化の中でできることは何かを一緒に考えていきました。個人だけでなく、地域全体で今後どのように鳥屋野潟の魅力を発信していくべきなのかを学ぶことができました。



約50年鳥屋野潟を見てこられた
菅原正憲様



音楽や映像、写真から鳥屋野潟の移り
変わりを教えていただきました。

【生徒の感想】

- ・鳥屋野潟と川のつながりや周りの土地の変化について知ることができた。鳥屋野潟の昔は家族と遊びに来る人が多かったと知り、これからの未来も同じように多くの人で賑わう場所になるといいなと感じた。
- ・これから学校のSDG s活動で鳥屋野潟の問題に着目して解決の方法を探してみようと思った。50年以上鳥屋野潟を見てきた方からお話を聞いたのはとても貴重だった。

【講座名】 船上から見た鳥屋野潟の現状について（環境、ごみ、魚）

【講師】 鳥屋野潟漁業協同組合 増井 勝弘 様、大野 彦栄 様

【参加者】 20人

【活動概要】

鳥屋野潟の暮らしや漁業などの体験を基に、潟の水質や魚、環境の変化、潟に流れ着く様々なごみの問題について、潟舟マイスターとしてお話していただきました。現場からの声をそのまま聞くことで、鳥屋野潟の現状を知ることができました。



潟舟マイスターとは何かお話していただきました。



鳥屋野潟のごみ問題について自分たちに今できることを考えました。

【生徒の感想】

- ・鳥屋野潟には珍しい魚が30種類以上生息していることを知り、魅力的な一面があると気づいた。今度は潟産の魚が食べられるレストランに行ってみたいと思った。
- ・学校のすぐ側の鳥屋野潟のごみの現状を知り、これからゴミ拾いなどに積極的に参加して、きれいに保てるような活動をしていきたいと思った。

【講座名】 「鳥屋野潟及び鳥屋野潟南部開発の経緯と今後」

【講師】 元新潟市都市政策課 松田 暢夫 様

【受講生徒数】 10人

【講座の概要】

都市の中心に位置し水と緑に囲まれた自然豊かな鳥屋野潟。その周辺では公園やスポーツ施設が立ち並び、交通アクセスの拠点となっている現状をふまえ、その開発の担当者として今までの経緯と鳥屋野潟の今後についてお話していただきました。



鳥屋野潟の歴史にたくさんの驚きがありました。

【生徒の感想】

- ・総合の探究テーマと関係している内容がたくさんあってさらに興味がわいた。今回の講座を活かしていきたいと思ったし、鳥屋野潟がいろいろな方の思考や苦悩のうえで成り立っていると学ぶことができた。
- ・今回の講座を通して、鳥屋野潟は昔どんなことがあって今こうなったのかなど、驚きがたくさんあった。とても楽しかった。今後、新潟についての勉強をしていくので学んだことを活かしたい。

【講座名】 東日本大震災から 10 年『実体験から学んだ防災』

【講師】 山潟中学校地域教育コーディネーター 後藤 素子 様

【受講生徒数】 5 人

【講座の概要】

東日本大震災によってふるさとの福島を離れ、新潟での生活が始まったことをきっかけに「防災」について私たちにはどんなことができるのかをお話していただきました。たくさんの写真から防災イベントや取り組みについて時間の限りご紹介していただきました。



地域の防災イベントを知ることができました。

【生徒の感想】

- ・ 防災のことについて、まだまだ私の知らないところで活動している方がたくさんいるとわかり、私も積極的に協力していきたいと思った。
- ・ 防災はとにかく 1 人 1 人が意識を持つことが大切だと分かった。これから、防災のイベントに参加し、分かったことを周りの人にも伝えて、防災の意識を少しでの多くの人にもってもらえるようにしたいと思った。

【講座名】『大地の成り立ち』から新潟の防災を考える

【講師】 とやの物語実行委員 鴨井 幸彦 様

【受講生徒数】 9人

【活動概要】

新潟県の地形や地質を例に、地質学のおもしろさや、新潟の大地の生い立ち、災害列島「日本」で安全に暮らすための防災についてお話していただきました。短い時間の中で、様々なテーマでの知識を蓄えることができました。

【活動の様子】



テーマ別のお話から、地学のおもしろさ、魅力を感じました。

【生徒の感想】

- ・講義の中で、初めて見る地層が多くてとても楽しかった。この地域の地質の予備知識を多少は知っているつもりだったが、初めて聞くこともたくさんあって貴重な時間を過ごせた。
- ・高校生になってから地学を学んでいなかったが、地学から見えてくる地域の歴史、安全性をどのように見分けるのかが面白かった。地学の教養がどのように私たちの生活に結びついているかを知る機会がもっとあるべきだと思った。